

広袴便り

広袴町内会
会報第65号

発行日
2025(令和7)年
1月1日

発行責任者
広袴町内会
小堺幸男

町作りの5つの柱

- 1 安心、安全な町
- 2 子どもお年寄りを大事にする町
- 3 きれいで清潔な町
- 4 伝統、文化を大切にす町
- 5 近所の触れ合いのある町

新年のご挨拶

広袴町内会の皆様、明けましておめでとうございます。また、町内会行事活動にご協力賜わり、厚くお礼申し上げます。今年も町内各位の皆様方と色々な行事などを開催し、親睦を図っていききたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。



最近各地で窃盗、特殊詐欺、闇バイト、車両盗難事件が多く発生しており、町内でも被害が確認されております。ご注意ください。ご迷惑が申さいますようお願い申し上げます。

上げます。お隣、近所の皆さま方と協力して被害にあわないよう注意をお願いいたします。

町内会としても、町田警察署生活安全課などに相談、支援を受け、町内会員の皆様方に情報を提供していきたいと思っております。

特殊詐欺などに騙されないよう、宜しくお願いたします。
(広袴町内会会長 小堺幸男)

輪投げ大会で優勝！

一〇月二十九日、日野市市民の森ふれあいホールで開催された東京都老人クラブ連合会の第二ブロック(町田、多摩、稲城、日野)の輪投げ大会で、広楽会の「輪投げチーム」が優勝しました(二〇チーム参加)。つづいて一二月七日、大蔵小学校で二〇チームが参加して行われた鶴川地区大会でも広袴チームが優勝しました。おめでとうございます！

この結果、輪投げチームは一月二〇日に行われる町田市の大会へと歩を進め、そこで勝ち進みますと、中野区立体育館で開催される東京大会への出場が可能となります。七八チームが参加する東京大会への出場に向けて、広楽会の輪投げチーム(メンバー五名)は、毎週木曜日、広袴会館で練習に励んでおります。

お知らせ！

- ▼どんと焼き (1月11日)
準備 10時~12時
点火 15時
終了 17時

▼親子マラソン大会

1月19日(日)
午前8時40分受付
集合 鶴川第3小校庭
スタート 9時50分

*詳細は配布済お知らせをご覧ください

大運動会

一〇月二〇日、町田ギオンスタジアム陸上競技場において、鶴川地区町内自治会連合交流会「大運動会&ウルトラクイズ」が行われました。

心配された天気はなんとか大丈夫だったのですが、なにより風が強く、寒い…。強風のため、テントやシートの使用は中止となりました。

しかし、参加者の皆さんはHOT！五四名もの町内会の方々と消防団第三分団第七部の皆さんも加わり、熱い闘いをくりひろげてくださいました。

今年は何年通り、小学生による徒競走、二人三脚や紅白玉入れ、大玉転がし等の種目のほか、親子が一緒になって楽しめる昨年にはなかった競技もおこなわれ、老若男女の笑顔がはじける素敵な大会となりました。

そして大運動会の目玉、競技の最後をしめくくる小学生六人と一般男女二人チームによる町内会对抗リレーで、広袴町内会が今年もぶつちぎり優勝しました。まわりからは「今年も広袴か、すごいなあ!」と賞賛の声!万歳、万歳!

そんな大運動会も全員参加のウルトラクイズで終了、大きな問題もなく終えることができました。運動会に関係してくださった広袴町内会の皆様、ほんとうにお疲れ様でした!そして有り難うございました!

来年は一〇月一九日開催予定で大運動会の企画はすでに動き出しております。まだ見ぬ健脚のあなた!来年、ギオンスタジアムで一緒に楽しみましょう。

(15組 茶花健太郎)



作品展示会

今年の作品展示会を、一月九日と一〇日の二日間広袴会館で開催しました。絵画、習字、編み物、折り紙、工作等の作品が、六三名のお子さんたちの出品を合わせ、全部で二五五点が展示され、来場者数も一三〇名を超えました。

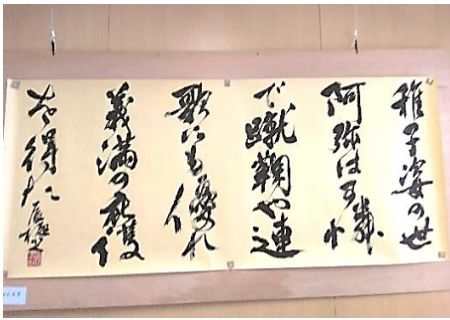
この中で子ども会からは、プログラミング・ロボットや折り紙等の展示があり、来場者の目を引きつけました。また、作品展示会としては初めての試みの体験コーナーでは、無患子のブレスレット作り、バフンモミジのストラップ作り(さわの会)、ねじりストラップ作りを行い、会場を盛り上げました。参加者たちからは、「思い通りの作品ができた」、「作って楽しかった」などの声が多く聞かれました。

体験コーナー担当者たちは、子ども達が一生懸命取り組んでいる姿を見て、次回も体験コーナーを盛り上げるよう頑張りたいと、意欲的でした。

地域交流の作品展示会を通して、地域のコミュニティの輪が広がっているように感じました。今後も作品展示会が多くの出展者・来場者で賑わうことを期待しております。

(9組 加藤伊津子)





調整池周辺の除草

一月一七日、広袴調整池周辺のクリーンアップが行われました。

この日は天気も良く、青空の下、紅葉が一段と綺麗に見える朝でしたが、道路には落ち葉がいっぱい、今回は除草よりも落ち葉拾いが主な作業となりました。

ブローアールや

箒、熊手を手に落ち葉を集めていきま

す。少し寒さを感じる季節になってきま

したが、集めた落ち葉を袋

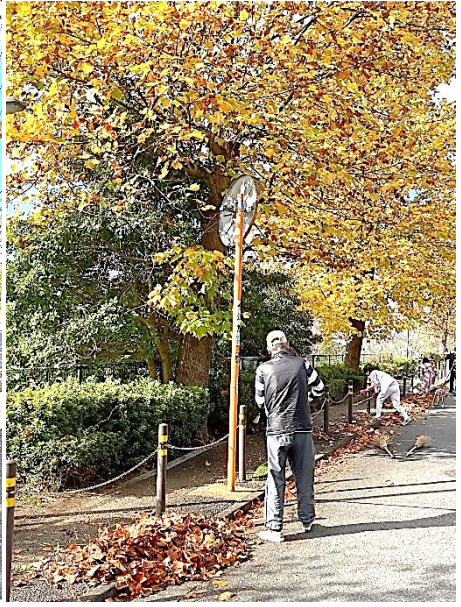
に詰め込む作業にかかると、額には汗が滲みます。

「昔は、こうやって落ち葉を集めて、焼き芋を作ったんだよな」

「また落ち葉で道路がいっぱいになるだろうけれど、紅葉を見て楽しもう」

そんな会話をしながらも、皆さんテキパキと作業されていたこともあり、開始から一時間もしないうちに調整池周辺道路はきれいになっていきました。また調整池だけでなく、広袴会館の松の木の手入れも行われ、会館周辺も綺麗になりました。

クリーンアップ作業のご協力有り難うございました。
(1組 渡辺祥聡)



防災訓練

一二月一日、総選挙のため延期になっていた自主防災訓練が、曇一つない晴天の下、広袴公園で実施されました。

昨年は悪天候のため中止となり、二年ぶりの開催となりましたが、小さなお子さんからご年配の方まで町内の皆さんと、主催者側関係者や協力者を含め、参加者は総数六四名でした。

参加者が一人でも多く実体験ができるよう、二班に分かれ各訓練に臨みました。初期消火訓練では、消火器の扱い方や消火をする上での注意点を学び、その後バケツリレーを実際に行いました。簡単そうに考えがちですが、バケツリレーする人と人の間隔やなかに入れる水の量、手渡しのため把手の持ち方など、知っておくべきポイントがいくつもありました。



AED訓練では、人体を使って心臓マッサージやAEDを実際に装着し、電気ショックを与えて蘇生を試みるまでを教わりました。心臓マッサージもいざ実際に行ってみると、力のいれ具合や押す速さなど、経験してみても初めて分ることも多くありました。

応急救護訓練では、三角巾を使って頭、腕、足に負ったケガの止血方法を教わり、参加者みんなで体験しました。

そして、スタンドパイプ、放水訓練では道路にあるマンホールの中の水栓からスタンドパイプで水を確保し、ホースをつなげて放水するまで体験することができました。

消防団員に補助されながら小さなお子さんから親御さん、ご年配の方まで多くの参加者が広袴池に向かって放水をするという貴重な体験もできました。

参加されたお母さんから「AEDの使い方を体験したかったので、すごく勉強になり、参加して良かった」

「実際にやってみないと分らない事もたくさんあったので、とてもいい体験になった」と、好評でした。

開催にあたっては町田市交通安全協会、東京消防庁町田消防署鶴川出張所、町田市消防団第三分団第七部、町田警察署真光寺駐在所ほか、多くの皆さま方のご協力をいただきました。

今回改めてこのような訓練が、安全な日常生活を維持するうえで、とても必要であると痛感させられる一日となりました。
(16組 南部 修)





神明社禮大祭

毎年、秋に執り行われる神明社禮大祭。皆様はどのような神様が神明社に祀られているかご存じですか？

神明社のご祭神は天照大御神だそうです。太陽を司る神様として祀られ、豊かな収穫や家族の安泰、国の平和を祈願しています。この広袴の平和も守ってくれているのでしょね。

禮大祭の前夜祭、宵宮も二八日に行われ、子供会の方々が作ってくれた絵を貼り付けた行灯が参道を照らし、いつもとは違った雰囲気です。

そしてようやく秋らしい気温に落ち着いてきた九月二十九日(日)、神明社禮大祭が執り行われました。

禮大祭当日は、午前中に神明社で神主さんによる祈禱が行われ、町内会の代表の方々が玉串を捧げ、お神輿を出す準備も万端。昼過ぎからは、子供も大人もハッピー姿でお神輿を担いで町内を巡りました。お神輿を担いで回ることで、厄災や穢れを吸収して清めたり、人々の豊作祈願や願いを聞き入れたりするそうです。元気にワッショイワッショイの声が響いて無事に町内を巡りました。

お神輿を担いで回るお祭りは全国で江戸時代あたりから行われていたようです。このような伝統行事を町内で経験できることは、子供にも大人にもいい経験でとても素敵な事だと思います。お祭りを通じて地域の繋がりが広がっていくのを感じ



ました。伝統を毎年継いでくれる町内の皆様に感謝すると共に、秋の訪れを感じる一日となりました。
(15組 新堀牧子)

広袴に住んでⅠ

私はサラリーマン。満員電車で通勤している。

新居を構えるにあたって、通勤のことを考えると、京王線沿線は遠く、東急線沿線はセレブ感が強すぎて身の丈に合わず、必然と小田急沿線鶴川の広袴が新しく住む場所となった。

私は坂が嫌いだ。毎日利用する最寄りの駅まで、坂があるなんて考えられない。今思えば、典型的にあやしい不動産屋に紹介された物件は、駅まで坂がない！見渡せば緑が多い。幹線道路から離れて静か。環境が素晴らしい！

私は鳥が嫌いだ。それでもカモの親子、ゆったり羽を広げて飛ぶサギ、青く光らせながら一直線に進むカワセミなどを見ていると、知らぬ間に自然の癒しの中に吸い込まれている。

私は魚が好きだ。その昔、護岸される前の真光寺川にはタナゴなどが生息していたとか。そのような頃を想像しながら川を眺める時間は気持ちのリラックスさせてくれる。もちろん片手にお疲れ生の缶ビール。

私は尾根道が好きだ。嫌いな坂を上って辿り着く尾根道から富士山を見つけたときは感動した。ひとり寒さや嵐に耐え抜くその姿は、世界遺産に指定される以前から「オレ遺産」になっていた。少し場所を移して富士山と反対の方向には、新年の初日の出を拝む人でいっぱい。初日の出と富士山、神明社もある。ここは広袴のパワースポット。

やっぱり夏祭りが好きだ。

町内会、広楽会や子ども会の皆さんとお客さんの間

で、たくさんの笑顔や笑い声が溢れ返る、その間に町の絆や町の息吹を感じる。絆とか言葉にすると、重たく面倒に感じてしまう方もあるかもしれない。けど、いざというときに助け合う何気ない一言、ちよつとした行動と思えば、とてもありがたいと思える。

はて？一方で広袴にはたくさんの人がいるんだなあ、と思う。酷暑の中の祭りやその他のイベントの準備や力仕事を毎回担っているのは、はるかに年上の先輩の方々ばかり。そう思っって早一五年くらいかな。五〇代の私なんかまだハナタレ小僧だけど、微力ながらお手伝いさせてもらっている。

町内会のイベントに若い世代の参加者がより増えたら、さらに賑わう夏祭りでこう呟こうかな。

「広袴が大好きだ。広袴でよかった」

もちろん片手に生の缶ビール。(6組 岩崎一朗)

広袴に住んでⅡ

二〇〇一年から広袴在住の川良(かわら)です。もともと宮崎県延岡市(五ヶ瀬川が流れる)出身で、似通った家が並ぶ社宅で育ち、自分で建てた家に住んでみたいと思いました。妻は関西出身で、結婚当初、双方の両親は関西在住でした。

職場は都心にあり、異動は想定しておらず、東京近郊で売地を探し回りました。広袴はその一つで、抽選に外れた物件を見た帰りに通ったそばが、今の住まいの有る所です。親水池から延びた真光寺川にかかる神明橋を山側に向かってすぐ、階段道と掲示板に挟まれた角に接しています。

広袴のたんぼが見渡せて、とりの声を聴きながらぼうつと雲を眺めていると、ここに住んで良かったと心から思います。真光寺川でカワセミを初めて見たときと、初夏に響き渡るホトトギスの鳴き声を知ったときと、驚き感動しました。正月明けに家族で参加したどんと焼きには迫力と伝統を感じました。皆様のおかげでいいところに住むことができました。

通勤には一定のストレスがありますが、電車に乗ること自体に娯楽的魅力を感じます。大学時代に住んだ



のは市川市の真間川沿いでした。次に住んだのが江戸川西葛西で、その後、病院勤務を始めて青梅市河辺(多摩川が流れる)、文京区江戸川橋、横浜市磯子区(根岸湾

に面する)に住み、結婚を経て一九九一年、千葉市花見川にマンションをもとめました。一九九八〜九年にはオランダ、アムステルダム近郊(運河が目の前)に住みました。今は鶴川ですから住んだ家の多くが川や海、運河に縁がありました。

今、娘は名古屋に、息子は市原に移り、妻は子らに寄り添って暮らしています。私は週末、ホームキープで動いています。これから先、まだ、広袴を楽しみたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

写真は狭い庭を駆け回っていた愛犬のクッキーです。吠え癖を直せなかったのは飼い主の責任でした。この場を借りてお詫びいたします。(1組 川良徳弘)

会報は楽しく面白く

一昨年の三月、クジ引きで町内会の委員に選出されました。もう八〇歳半ばという高齢なので、事前にその旨伝えるべきでしたが、クジで決まった後は無理でした。二〇年ほど前、この地に移住してきましたが、事情があつて町内会のことは妻まかせでした。委員ともなれば、そうはいくまいと観念し、重い腰をあげました。

各組の委員は六つある専門部の一つを担当することになり、私は広報部担当になりました。任期は二年で、一年目は副部長、二年目に部長を務める仕組みです。広報部の主な役割は、町内会報『広袴便り』を作ることです。会社を定年退職後、パソコンでWordを使ってかなりの雑文・駄文の類を書いてきましたので、会報の編集や校正なら務まるだろうという軽い気持ちでした。

ところが直ぐわかったことですが、広報部長は自らWordを使って『広袴便り』を作成するのが役目でした。これは大変なことになったと正直思いました。Wordのさまざまな機能を使って、誌面を作る(割り付ける)こととは思つてもみなかったからです。

改めて発行済みの『広袴便り』を引っ張り出し、どのようにしたらこのような誌面を作ることができるか、パソコン上でいろいろ試してみました。解説書を漁ったりしましたが、全く歯が立たないのです。会社勤めのころはワープロを使うぐらいで、本格的なITとは無縁の世代。スマホも使いこなせない老人です。

Wordに詳しい人に教えてもらおうのがベストですが、近くにそのような人はいませんでした。

引き受けたからになんとかしなければならぬ。思い悩んだ末、ここはプロの教えを請うことにし、パソコン教室の門を叩きました。入会時に『広袴便り』を見せ、このような冊子をつくりたいと伝えました。まずはWordの基礎コースを受けなさいといわれ、六ヶ月の間を想定し、その年の九月から週二回、町田駅近くのパソコン教室に通い始めました。

テキストにしたがつて教室でパソコンを操作し、教程をこなしていくやり方です。操作中にわからなくなれば、インストラクターが直ぐ対応してくれます。さすがプロの教室、テキストも良くできております。テキストにそつて順調に進み、二ヶ月半ほどで六冊分の基礎コースをクリアしました。(超早い)といわれましたが、本当のところは教程を一通りマスターしただけで、自由自在に使いこなせるレベルではありません。

ともかく年金生活者ですから、出費を抑える意味でも、メドがついたら直ぐ退会すると決めていました。ところが基礎コースだけでは、会報を作成できないことがわかりました。例えば、Excelで作った表などの取り込みは、別料金ということ。さすが商売です。でも、覚悟した六ヶ月よりも早く、三ヶ月でなんとか作成のメドをつかむことが出来たのは成功でした。

新年度に入り、心を引き締めて会報の作成にかかりましたが、半年前に習得したつもりでいた技も常時使われないと忘れていたのです。でも、なんとか六月に六三号を出すことができました。引き続き一〇月に六四号、そして今回の六五号の発行にこぎ着けました。ヨタヨタしながらも、にわか仕込みの技で、どうにか役目を果たすことができました。(12組 渋谷 寿)

吉川動物病院



診療時間 / 午前 9:00 ~ 12:00
午後 3:30 ~ 6:30
日・祭日 / 休診

町田市広袴 3-3-11

☎ 735-3487



(株)光陽測器製作所

本社 / 〒195-0056 東京都町田市広袴 2-17-14
TEL 042(736)0959 FAX 042(736)0453

編集後記

新年おめでとございませう。今年度最後の『広袴便り』です。会報は町内会が主催する行事や町内の動きなどを会員の皆様にお伝えするのが主な目的ですが、今年度は会員の皆様に寄稿していただきました。今回は二名の方々の『広袴』に任んで「です」。「会報は楽しく面白く」は齢八五、六歳という人生の終着駅を間近にした一会員が、急遽広報担当になり、なんとか任務を果たした顛末記です。▼今年度から新聞各紙の年号表示と同じように、題字の下の年号に西暦を加えました。▼この一年間、会員の皆様方には多大なご協力をいただき、感謝申し上げます。有り難ございませう。(広報部一同)

広袴おりおり

第37回

キンクロハジロの仰向け羽繕い

広袴池で周年お馴染みのカルガモやバン、コサギの留鳥と異なり、秋に渡ってくる冬鳥は必ずしも広袴池に飛来してくれりとは限らない。マガモ、コガモ、オカヨシガモ、カイツブリは比較的よく飛来するが、それでも毎年とは限らない。空を飛べる鳥は、他にもっと良い環境があれば幾らでも移ってしまう可能性がある。近年は広袴池に飛来する冬鳥が、種類、数共に減っている印象なのが気掛かりである。四方が住宅に囲まれた小さな調整池に、わざわざ飛来してくれる有難さを改めて思う。

従って広袴池には滅多に飛来しない冬鳥が現れた際は感激も一入となる。キンクロハジロはその一種である。

筆者が初めてキンクロハジロが池に現



⑩ 2016, 1, 4



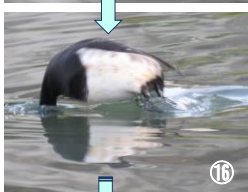
【潜水】⑮

⑮~⑱ 2016, 1, 4

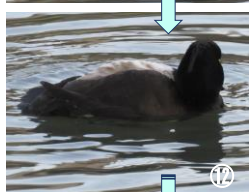


【仰向け】⑪

⑪~⑭ 2016, 1, 4



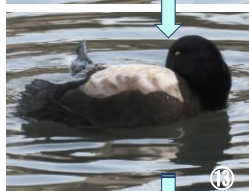
⑯



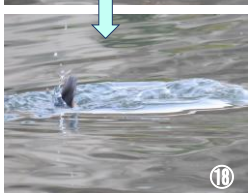
⑫



⑰



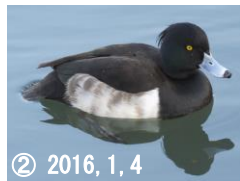
⑬



⑱



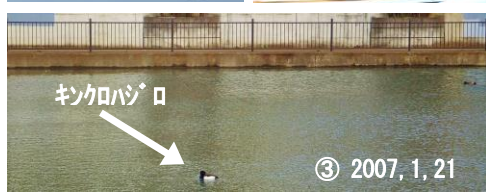
⑭



② 2016, 1, 4



① 2016, 1, 4



キンクロハジロ

③ 2007, 1, 21



④ 2016, 1, 11



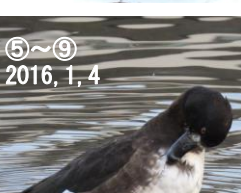
⑥



⑤



⑧



⑤~⑨ 2016, 1, 4



⑨



⑦

れたのを観たのは③の通り十七年前の二〇〇七年のことであった。しかし、その後は中々現れず、次に観られたのは九年後の二〇一六年一月であった。但しこの時は、前年の十一月三日に町田・薬師池で五十年以上振りに行われた「掻い掘り」の影響で、そこにいたキンクロハジロの何羽かが移ってきたものと筆者は推測している。

いずれにしても、希少な機会が得られ、

喜々として観察したことを思い出す。①はメスで②はオス。目が黄色で後頭部に冠羽がある。④は二組のペア。⑤は正面の姿。嘴の幅が広い。⑥は後ろ姿なのだが首を百八十度近く回して背中に載せている。⑦⑨は全て体を頻繁に嘴で掻いて羽繕いをしている様子。その中で⑨の体を斜めに傾けて腹を掻いている様子が面白い。

完全に仰向けになって羽繕いをしているユーモラスな姿が⑩である。⑪⑭はその体勢になる様子を示した連続写真である。

また⑮⑱は採餌の際の潜水する瞬間の連続写真である。

その時から約九年が経った。その間にこの魅力的な冬鳥、キンクロハジロが広袴池に飛来するのを筆者は観ていない。

仰向けに白い腹出し羽繕いキンクロハジロもう春なのか (十六組 篠田泰蔵)



余話

カモ類の中でキン

クロハジロは、カルガモやマガモ、コガモ等とは異なり、採餌の際に潜水も行う。

その為、潜りやすいように脚が体の大分後方に付いている。露出を明るく調整した写真⑱の水面下に映っていて、そのことが分かる。⑲はその部分を拡大した。



⑲



2016, 1, 4

⑲